

5-1 ナイジェリア

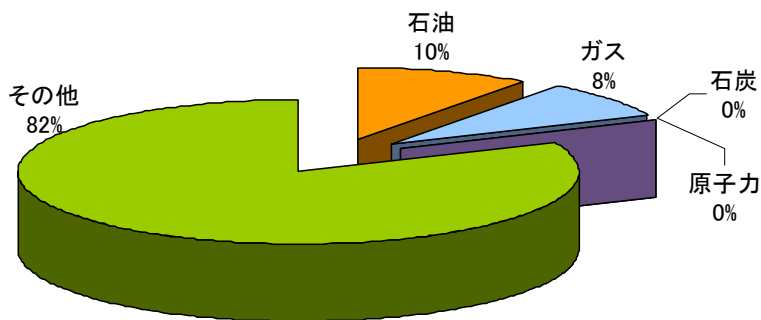
1. サマリー

1. エネルギー事情

ナイジェリアは 206 万 B/D (09 年) の石油を生産するアフリカ最大の産油国である。LNG についても 2009 年 11 月時点での生産能力は約 2,200 万トン/年であり、アフリカ最大の生産国である。

- (1) 一次エネルギー供給量 111.1 石油換算百万トン (08 年、日本の 22.4%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 0.73 石油換算百万トン (08 年、日本の 18.8%)
- (3) エネルギー自給率 204.0% (08 年)
- (4) エネルギー起源 CO2 排出量 53.7 百万トン (08 年、日本の 4.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量 0.35 トン (08 年、日本の 3.8%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (09 年末) 原油 49.5 年、天然ガス 100 年以上

一次エネルギー供給構成 (2008 年)



(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries 2010

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

2007 年 1 月の省庁再編時に創設されたエネルギー省 (Federal Ministry of Energy: FME) がナイジェリア国内のエネルギー全般の政策を所管していた。2009 年 8 月に再々編が行われエネルギーに関しては、石油資源省 (Federal Ministry of Petroleum Resources) が担うこととなった。その中でも石油・天然ガスに関する規制監督機能は、エネルギー省内の石油資源局 (Directorate of Petroleum Resources: DPR) が担っている。

(2) 基本政策

- ナイジェリアのエネルギー政策はこれまで石油・ガス開発促進と輸出拡大による短・中期的経済発展、エネルギー部門における腐敗の除去や透明性確保に重点を置いてきた。

2007 年 5 月にヤラドゥア大統領が就任した後は、この重点課題への取り組みを進めるべく、国内石油・ガス産業の抜本的な改革が模索されている。

- このような改革の目玉として、政府・国営石油会社の組織改編や上流事業における税制の変更などが盛り込まれた石油産業法案（Petroleum Industry Bill）が議会で審議されている。

(3) 最近の動向

2009 年 7 月、ナイジェリアの武装勢力 MEND による停戦宣言を行って以降、産油地域であるニジェール・デルタの政情が落ち着きをみせ始めている。これによって同地域からの石油生産も増加し、2009 年 4 月時点では 170 万 B/D にまで落ち込んだ石油生産も 2010 年 4 月時点では 205 万 B/D にまで回復してきている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 09 年の日本のナイジェリアからの原油輸入は 317,000KL（約 0.6 万 B/D）であり、全体の輸入量に占める割合は 0.15%に過ぎない。LNG の輸入量も少なく、08 年の輸入量は 58 万トンであり、全体の輸入量の 0.9%にとどまった。
- プロジェクト関連では、LNG Japan が 2006 年 4 月に OK LNG プロジェクトの権益 3%を取得することで NNPC（ナイジェリア国営石油会社）と基本合意している。また、ナイジェリアで浮体式 LNG プロジェクトを進めるノルウェーの Flex LNG に川崎汽船が 15%出資しており、三菱商事がその事業化検討スタディに参画している。

2. 主要エネルギー指標

(1)	一次エネルギー供給量（08 年）	111.1 石油換算百万トン	
(2)	1 人当り一次エネルギー供給量（08 年）	0.73 石油換算トン/人	
(3)	GDP 当り一次エネルギー供給量（08 年）	1.51 石油換算トン/千ドル	
(4)	エネルギー自給率（08 年）	204.0%	
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量（07 年）	53.7 CO ₂ 百万トン	
(6)	1 人当りエネルギー起源 CO ₂ 排出量（07 年）	0.35 CO ₂ トン/人	
(7)	一次エネルギー供給構成（08 年）	石炭	0%
		石油	10.1%
		ガス	8.2%
		原子力	0%
		水力	0.4%
		再生可能エネルギー等	81.2%
(8)	エネルギーの輸入依存度（08 年）	-103.9%	

(9) 石油の輸入依存度 (08 年)	-879.3%
(10) 輸入原油の中東依存度	該当数値なし
(11) 原油輸出先 (08 年)	1 位 米国 2 位 スペイン 3 位 フランス

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA、「Energy Balances of Non-OECD Countries (2010 年版)」。

(5)および(6)は IEA、「CO2 Emissions from Fuel Combustion (2009 年版)」。

(10)および(11)は Blackwell Publishing、「World Oil Trade」(2009 年版)